

# 病害虫発生予察特殊報(第5号)

平成29年 1月23日

神奈川県農業技術センター

病害虫名：ヨコバイ科の一種（ヨコバイ科ヒメヨコバイ亜科）

*Eupteryx decemnotata* Rey

発生作物：ローズマリー

## 1 発生経過

- 平成28年10月に神奈川県東部で、ローズマリーを加害するヨコバイ類を見つけたとの情報を受け、神奈川県農業技術センター病害虫防除部職員が当該現場を調査。ローズマリーの鉢植え・植栽から種不明のヨコバイ類成虫2頭、幼虫2頭を採取した。
- 採取した成虫2頭、幼虫2頭について、横浜植物防疫所に同定を依頼したところ、ヨコバイ種（和名なし、ヨコバイ科ヒメヨコバイ亜科）*Eupteryx decemnotata* Reyと同定された。
- 本種は、神奈川県内での発生確認は初めてである。なお、本種は平成28年7月7日に千葉県で病害虫発生予察特殊報として発出されている。

## 2 形態および生態

### (1)形態

成虫は体長2.2~3mm。体色は黄緑色、前翅に褐色で縁取られた斑紋がある。また、頭部に10個の黒色斑紋がある（図1）。

### (2)生態・分布

日本国内での生態は詳しくわかっていない。本種はヨーロッパ原産で、現在の発生国はイギリス、イタリア、ドイツ、フランス、ポルトガル、スイス、スロベニア、オーストリア、ポーランド、アメリカ合衆国等である。ヨーロッパの文献によると、年間2~3世代以上発生し、イタリアのトスカーナ州以北では、卵が寄主植物の葉組織内に産み付けられて越冬する。一方、地中海沿岸では成虫、幼虫の形態でも次の春まで生き残ることができる。

## 3 被害および寄主植物

### (1)被害

本虫が吸汁すると、吸汁された部分が黄化する（図2）。

### (2)寄主植物

寄主植物は、シソ科。ローズマリー以外に、海外では、シソ科のイヌハッカ、セージ、タイム、マジョラム、ミント、レモンバーム、ラベンダーへの寄生、加害が報告され

ている。

#### 4 防除対策

- (1)本種に対しての登録農薬はない。
- (2)栽培施設および栽培作物を寒冷紗等で被覆して侵入を防ぐ。
- (3)被害程度が大きい個体は、株ごと処分する。



図1) *Eupteryx decemnotata* Reyの背面と頭部、原図：横浜植物防疫所



図2) 被害を受けたローズマリーの茎葉  
(参考文献)

1. 千葉県農林総合研究センター 2016.平成28年度病害虫発生予察特殊報第2号. ローズマリー ヨコバイ類の一種
2. Mazzoni V. and Conti B. 2006. *Eupteryx decemnotata* Rey (Hemiptera Cicadomorpha Typhlocybinae), important pest of *Salvia officinalis* (Lamiaceae) . *Acta Hort.* (ISHS) 723:453-458
3. Magdalena L. and Krazysztof M. 2015. First record in Poland of the Ligurian leafhopper, *Eupteryx decemnotata* Rey 1891 (Cicadomorpha,Cicadellidae) – an important pest of herbs. *Journal of plant protection research* Vol.55 No3

神奈川県農業技術センター 病害虫防除部  
〒259-1204 平塚市上吉沢1617  
TEL 0463-58-0333 FAX 0463-59-7411  
<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f450002/>